

のび太は発達障
害？（発達障害の心
理学 に見る）

1. 発達障害とは？



生まれつき脳の働きが他の人と違う

例

- 知的能力障害群
 - コミュニケーション症群
 - 自閉症スペクトラム症群 (ASD)
 - 注意欠如・多動症 (ADHD)
 - 学習障害 (LD)
 - 運動症群
- など

2. 「ドラえもん」 とも関連づけられている



例

司馬英子

⇒のび太とジャイアンはADHDでは？

1. 「知的能力障害群」とは？



- IQ（知能指数、知的能力の平均を100とした物）が異常に低い
- IQが70を下回ると怪しい？

2. ドラえもんでIQと言えば？



「顔か力かIQか」
(藤子・F・不二雄大全集ドラえもん16巻)

具体的なIQは分からない

3. IQが低いとどうなる？



対人関係が上手くいかない
⇒のび太はどうか？

- スネ夫やジャイアンと喧嘩と冒険をする
- しずかちゃんという異性の友達がいる
→ある程度うまくいってるのでは？

のび太は「知的能力障害」ではない



3. ドラえもんの世界で分かる事？



会話での暗黙のルールが理解できるか？

⇒ジャイアンとトラブルに
しずかちゃんと出木杉の会話に割り込む

▶ 「自閉症スペクトラム症群 (ASD)」と区別が難しい

4. 結論

のび太は「コミュニケーション症
群」の可能性は低い。

1. 「コミュニケーション症群」とは？



- 語彙力が乏しく、文章が組み立てられない
- 吃音（「あっ、ありがとう」などつまる
- 会話での暗黙のルールが分からない

2. そもそもマンガだと？



- 成り立たない
- 非常に分かりにくい（アニメのように音声がない）
- どっちか分からない（わざとか、わざとじゃないか）



1. 「自閉症スペクトラム症群 (ASD)」とは？



注意：「自閉症スペクトラム症群 (ASD)」
社会的コミュニケーション症群について

1. 社会的コミュニケーション型
→ 会話の継続, 人間関係
- ② 限定された反復的な行動様式型
→ 同じ行動を繰り返す, 興味の幅が狭い, 中途半端が嫌

2. さっきも述べたけど



- 「知的能力障害群」
⇒ 異性の友達 (しずかちゃん) がいる
- 「コミュニケーション症」
⇒ マンガが成り立たない

3. 結論

のび太は「自閉症スペクトラム症群 (ASD)」の社会的コミュニケーション型ではない。



「自閉症スペクトラム症群（ASD）」
限定された反復的な行動様式型について

1. 行動の繰り返し



困った時に泣く(ノド)シクシク...(´；ω；`ウウウ
⇒ドラえもんに頼るが多い
⇒同じ行動を繰り返すというのは、のび太の特徴？

2. 興味



- ドラえもんの世界のマンガやゲームの種類
⇒1つではない。のび太は興味の幅が広い？
- 射的、あやとり、昼寝という特技
→射的：みんなに教えて周りが見えない
→昼寝：宿題を忘れる
⇒生活にも影響している

のび太は特定の事にしか興味を持ってないかも？



「自閉症スペクトラム症群 (ASD)」
限定された反復的な行動様式型について (続き)

3. 中途半端な事



- 「かんせいウエーブ」 (藤子・F・不二雄大全集ドラえもん12巻)
⇒宿題, 写生, 本の整理どれもできない
 - 宿題
⇒途中までしたシーンが見られない
- ⇒のび太は中途半端な事が苦手?

4. 結論 (まとめ)

- 行動の繰り返し→よくある
- 興味→特定の事にしかない可能性あり
- 中途半端が苦手かも

のび太は「自閉症スペクトラム症群 (ASD)」の限定された反復的な行動様式型の可能性がある

1. 注意欠如・多動症（ADHD）とは？



1. 不注意
→ 注意力不足

② 多動症—衝動症
→ 落ち着きがない

司馬英子：①（不注意）がのび太

2. 注意欠如・多動症（ADHD）の特徴



1. 精神年齢が実年齢の7割未満
→ 「人生やりなおし機」（藤子・F・不二雄大全集
ドラえもん4巻）：精神年齢が4歳だと思込む
シーン

2. 1人で遊ぶ事が多い
→ あやとり&昼寝をよく1人でする



3. 結論

のび太は注意欠如・多動症（ADHD）の可能性がある

3. 得意な事になると誰よりもくじけない
→ 昼寝&あやとり：世界レベル，射的：宇宙レベル
（「ひるね王選手権」「あやとり世界の王様に」「宇宙ガンファイターのび太（前編）」）

4. 自分から主張しない
→ ドラえもんに道具を出してもらうのは大抵やむを得ない？

3. テストに関する問題点



- のび太がどれだけ勉強したか分からない
⇒ 10, 20回聞いても分からない事も
- テストの平均点が分からない
⇒ 平均点次第で価値が変わる
- 問題が難しい
- 正解なのにxをされる事も

1. 学習障害 (LD) とは？



1. 読むのが困難 (読字障害)
2. 書くのが困難 (書字障害)
3. 計算が困難 (計算障害)

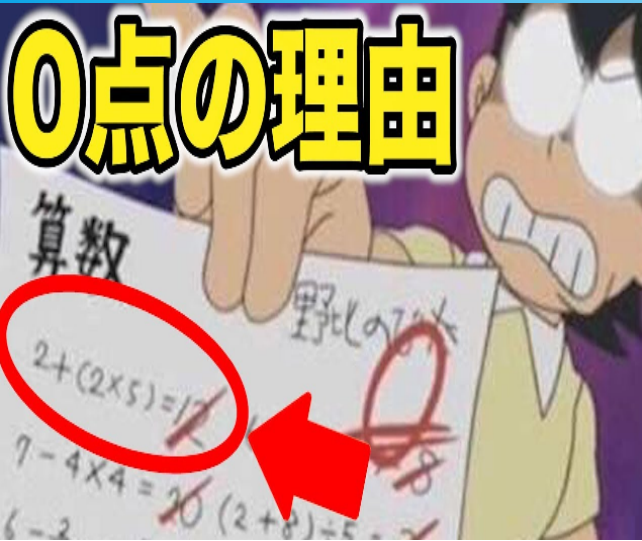
2. のび太のテストの点数？



- 「のび太の0点脱出作戦」 (藤子・F・不二雄大全集ドラえもん14巻)
- 「人間カメラはそれなりに写る」 (藤子・F・不二雄大全集ドラえもん9巻)
- 「具象化鏡」 (藤子・F・不二雄大全集ドラえもん13巻)

⇒ 頑張れば65点を取る事が多い？

100点も一応



4. 読むのが困難（読字障害）とは？



- 文章の意味を理解できない
- 文章を区切って読んでしまう
- 文字を追いかけるように読む
- 本（マンガも含む）を読むのが困難

5. のび太はどうか？



- 読み方→マンガだと分からない（音声がない）
「熱演カチンコ」（アニオリ）：棒読みで劇の練習
- 「本はおいしく読もう」（藤子・F・不二雄大全集
ドラえもん11巻）：本を読むだけで頭が痛くなる

マンガを好んで読むから当てはまらない？

⇔読みができないのは確か（学校場面を見れば）

のび太は学習障害（LD）の読字障害の可能性はある

6. 書くのが困難（書字障害）とは？



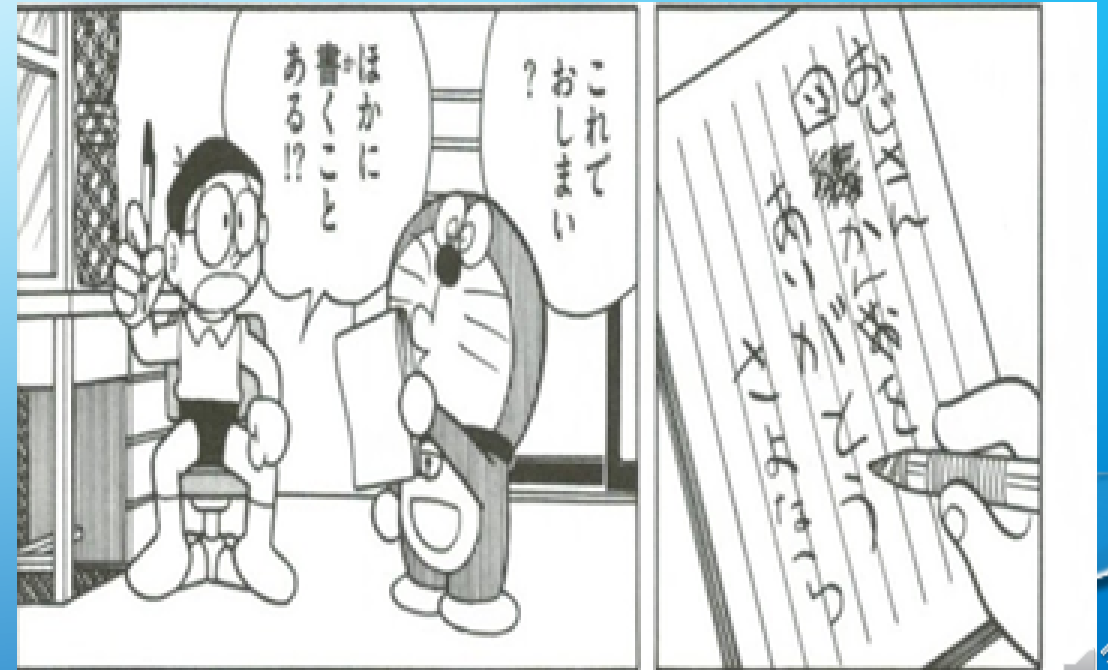
- 言いたい事を文章で書けない
- 「お」と「を」のように同じ音の表記に誤りが多い
- 「雷」と「雪」のように似ている文字の誤りが多い
- 文字の書き間違いが多い

7. のび太はどうか？



- 「もはん手紙ペン」（藤子・F・不二雄大全集ドラえもん7巻）
→ 「お」と「を」を間違えている（右画像）
- 「ライター芝居」（藤子・F・不二雄大全集ドラえもん4巻）
→ 書き間違いが酷い

のび太は学習障害（LD）の書字障害の可能性がある



8. 計算が困難（計算障害）とは？



- いつまでも九九が覚えられない
- 計算の繰り上げや繰り下げが苦手
- 数を数えるのが苦手

9. のび太はどうか？



- 「人生やりなおし機」（藤子・F・不二雄大全集ドラえもん4巻）
→勉強能力が小学2年生で止まっている
- 「世の中うそだらけ」（藤子・F・不二雄大全集ドラえもん3巻）
→ジャイアンに計算で騙される

のび太は学習障害（LD）の計算障害の可能性がある

10. ちなみに



【「学習障害（LD）」と「限局性学習症（SLD）」の違い】

「学習障害（LD）」→手先の不器用さや言葉の偏りあり
「限局性学習症（SLD）」→なし
⇒前者：教育者 後者：医者

手先の不器用さはのび太かもしれない
「しずかちゃんへのプレゼントはのび太」



1. 「運動症群」とは



様々な種類がある

→発達性協調運動症：手先が不器用

【「学習障害（LD）」との違い】

- 筋肉が思う通りに動くか
- 体が思うように動くか

2. のび太はどうか？



- あやとりが上手
- けん玉を足でできる（設定だった）

のび太は「運動症群」の可能性は低い